

投資者の皆様へ

2016年6月17日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2016年6月16日に国内の株式市場が大きく下落したことを受けて、以下のファンドの基準価額が大きく下落いたしましたので、その要因等についてご報告申し上げます。

1. 基準価額及び下落率(6月16日)

ファンド名称	基準価額 (円)	前日比 (円)	騰落率 (%)
SBI小型成長株ファンド ジェイクール(愛称:jcool)	7,458	▲431	▲5.46
日本小型成長株ファンド(愛称:跳馬)	11,578	▲657	▲5.37
SBI 日本小型成長株選抜ファンド(愛称:センバツ)	11,189	▲645	▲5.45

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2.基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

前頁記載のファンドの投資助言を受けておりますエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からのコメントは以下の通りです。

6月16日の日本株式市場は大幅に調整し、日経平均株価は前日比▲3.0%安となりました。これまで相対的に堅調さを保ってきた小型株市場も全般的に影響を受け、ジャスダック指数は前日比▲2.9%、東証マザーズ指数も▲7.1%となりました。15日の米連邦公開市場委員会(FOMC)の結果から利上げが緩やかなペースに留まるとの見方が広がったことに加えて、16日に実施された日銀の金融政策決定会合で金融政策の現状維持が決定したことから、外国為替市場で1ドル103円台と1年10カ月ぶりの円高水準になったことが影響しました。こうした影響を受けて、弊社助言ファンドの基準価額も前日比5%以上の下落となりました。

まず、組入企業の足元の業績については、想定通り・想定以上に推移していることをご報告いたします。また、現在も精力的に企業との個別直接面談調査を行っていますが、その中でも特に悲観的な見通しを持つ経営者は見られず、不透明感が残る経済環境の中でもそれぞれ強みを活かした成長戦略を遂行していることも確認できているため、外部要因による影響は限定的であると考えています。さらに、株式市場活性化の原動力となる新規株式上場(IPO)も活発です。昨年の新規上場社数は92社と6年連続の増加となりましたが、今年も現時点で大型上場も含み既に42社の上場が発表されており、株式市場にさらに活性を与えることが期待されます。

目先は23日に実施される英国の国民投票結果など、依然として波乱要因が予想されますが、かつて株式市場全般が混乱した時期とは経済の基礎的な条件が異なっていると見ています。したがって、徹底した調査を踏まえて、成長性と比べて株価が割安な水準と判断した場合には、積極的に積み上げの助言を行う計画です。

当社ではエンジェルジャパン・アセットマネジメント株式会社からの投資助言により、引き続き適時適切な運用を行うべく努力していく所存ですので、今後ともよろしくご厚意申し上げます。

以上

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.24%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 1.0%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬[※] 上限 2.16%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。